



Sydney College  
of English  
(CRICOS PROVIDER CODE 00050A)

# Sydney College of English

## ケンブリッジ検定準備コース



日本ではまだまだ TOEIC が主流ですが、イギリスの英語検定であるケンブリッジ検定はヨーロッパ各国では権威のある英語検定試験で就職や進学に有利です。  
中級上以上の英語レベルのある方、また長期留学をプランされている方は英語学習の集大成として、ケンブリッジ検定準備コースの受講をお勧めします！



### 【コースの特徴】

- ◇ 検定内容は、リーディング、ライティング、文法、リスニング、面接(インタビュー)の5部門。  
**8週間、10週間、12週間の集中コース**を通して将来さまざまな分野で活用できる英語力を養うことができます。
- ◇ SCE では、First Certificate (FCE), Advanced (CAE), Proficiency (CPE) の3レベルを提供しており、全てのレベルにおいて高い合格率を誇っています。
- ◇ 担当教師は経験豊富で検定の傾向を熟知しており、その対策を効果的にカリキュラムに導入しています。各クラス2人担任制(午前、午後1人ずつ)です。
- ◇ 午前のクラスは、リーディング、リスニング・スキルを中心に総合的な英語力強化を行います。午後は、ライティング、スピーキング・スキルと検定に向けての対策&模試で構成されています。
- ◇ クラス・サイズは最大でも12名。検定に向けてじっくりと勉強できる環境です。

### 【2008/09年コース日程】

2008年	9月15日(月)~12月5日(金)	12週間
	10月13日(月)~12月5日(金)	8週間
2009年	1月5日(月)~3月13日(金)	10週間
	1月19日(月)~3月13日(金)	8週間

※コースに入るためにはエントリー・テストが必要です。

## 🌟ケンブリッジ検定を受講した学生からのコメント 1 🌟

オーストラリアで英語の勉強を始めてから 3 ヶ月目にケンブリッジ検定準備コースのことを聞いて興味を持ちました。それまでは一般英語コースを 3 ヶ月間のおと EAP1(進学準備)コースで勉強しましたが、更に新しいことに挑戦したいと思い、ケンブリッジ検定を受けることにしました。

ケンブリッジ検定準備コースは、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、文法の5種類の試験に分かれていて、授業ではどの分野においても細かく、より深く学ぶことができました。私は特にリーディングが苦手で、文章を読んでいて分からない単語があるとすぐに辞書を引く癖がついていました。試験中はもちろん辞書は使えないので、分からない単語に直面した時に、辞書を使わなくても、文の前後関係を把握することによって内容を理解することができる、ということを知ることができました。また、このコースは12週間、クラス替えが無いので先生やクラスメイトと、とても親しくなることができると思います。同じ目標を目指して、12週間共に過ごした時間は、私にとって何よりも大切な思い出になりました。試験の日は、今まで勉強した成果が出せるか心配になりましたが、クラスメイトや先生の励ましによって緊張に打ち勝つことができました。

金子奈央

(2005年9月～12月ケンブリッジ検定準備コース、ス FCE レベル合格)



## 🌟ケンブリッジ検定を受講した学生からのコメント 2 🌟

僕は昨年シドニーより帰国し、今はインド、中国をメインに輸入を行う福岡の貿易会社で働いています。輸入している商品は、洋服からキッチンマットまで幅広くあり、もちろん毎日インドや中国に電話や e-mail を使い、英語でやり取りしています。就職に有利なものは、やはり TOEIC の高得点だと思いますが、僕は speaking が、すごく伸びると言われるケンブリッジ英語検定に興味を持ちました。僕の場合、いくら TOEIC が就職に有利であっても、話せないまま日本に帰るのが嫌だと考えていた為です。

実際、僕は Sydney College of English で FCE レベルを受講したのですが、10 週間という短い時間(1 月開講のコースは 10 週間)に、かなり内容の濃い期間を過ごしたと思います。まず、僕の学校の FCE レベルは 3 クラスありましたが、日本人は僕一人で、正直本当に不安でしたが、今思えば恵まれた環境だったと思います。クラスには、ヨーロッパからの学生がほとんどで、会話力でかなり他の生徒に劣る僕を担当の先生は把握してくれていて、たまには気分転換も兼ねて、授業をビーチで行ってくれたり、放課後の speaking の練習にずっとつきあってくれたりと、大変良い先生に出会ったと思います。さらにクラスメイトも協力してくれましたし、今でも電話をくれるほどの仲になりました。ヨーロッパの人は、本当にきれいな発音で英語を話します。だからクラスには、いいお手本がたくさんいるというわけです。また国によって話す英語の発音やイントネーションが異なり、初めは全く聞きとることができませんでしたし、逆に僕が話す英語はアジアの人や先生には通じるが、クラスメイトには最初は全く通じませんでした。初めは、そのことにすごくストレスを感じましたが、コースを通じて発音やイントネーションが矯正されていき、耳が色々な英語に慣れていくのを感じました。その経験は、今の仕事にかなり役立っています。会話能力が格段に伸びたことは、現在の仕事で、商談や重要な作業を電話で直接伝えられることによりかなり活かされていますし、色々な国の英語になれたことは、癖の強いインドの方の英語や、native と変わらないスピードで話してくる中国の方の英語を聞き取ることに大いに助かっています。英語力を伸ばしたいし資格も取りたい、そんな方にケンブリッジ英語検定コースは最適だと思います。日本では TOEIC に比べると、まだ知名度は高くないようですが、英語を用いて仕事をする企業には知られてきていると感じますし、何より自分がそこで苦勞して身に付けたものを仕事に活かせるのではないかと思います。

西尾 祥治

(2005 年 1 月～3 月ケンブリッジ検定準備コース FCE レベル合格)

